



平成 29 年 1 月 20 日

各 位

会社名 日本水産株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 細見 典男
コード番号 1332
問合せ先 経営企画 IR 室長 根本 喜一
(TEL. 03-6206-7037)

（訂正）「平成 26 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 11 月 5 日に開示いたしました「平成 26 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成 29 年 1 月 20 日付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度に係る決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_____を付して表示しております。

以上

【訂正後】



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本水産株式会社

コード番号 1332 URL <http://www.nissui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 細見 典男

問合せ先責任者(役職名) 経営企画IR室長 (氏名) 根本 喜一

TEL 03-3244-7490

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	291,611	5.3	5,304	82.1	5,775	665.9	3,184	—
25年3月期第2四半期	277,032	1.9	2,912	△54.2	754	△85.7	△1,216	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 7,908百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,082百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	11.53	—
25年3月期第2四半期	△4.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	437,923	74,694	13.8
25年3月期	424,108	66,404	12.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 60,536百万円 25年3月期 52,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	582,000	2.7	12,500	115.2	11,500	111.3	6,000	—	21.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	277,210,277 株	25年3月期	277,210,277 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	926,325 株	25年3月期	923,417 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	276,285,560 株	25年3月期2Q	276,289,791 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資など政府の経済対策や日銀の金融緩和による円安などから、企業収益に改善の兆しが見られ、個人消費では耐久消費財などで消費税増税前の駆け込み需要がありました。

世界経済（連結対象期間1－6月）につきましては、米国では景気は緩やかな回復傾向にあります。欧州のユーロ圏では景気は下げ止まり、ドイツ・イギリスにおいて個人消費持ち直しの動きが見られます。アジアでは中国において経済成長率が鈍化しています。

このような状況下で当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は2,916億11百万円（前年同期比145億79百万円増）、営業利益は53億4百万円（前年同期比23億92百万円増）、経常利益は57億75百万円（前年同期比50億21百万円増）、第2四半期純利益は31億84百万円（前年同期比44億円増）となりました。

事業の概況は次のとおりであります。

(1) 水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は1,143億65百万円（前年同期比37億51百万円増）となり、営業利益は8億73百万円（前年同期比17億18百万円増）となりました。

漁撈事業：前年同期比で減収、増益となりました。

- ・ 日本では、海外まき網漁業において、かつおの漁獲・販売が順調に推移しました。近海漁業では、さばの魚価が堅調に推移しました。
- ・ 南米では、漁撈事業の縮小・撤退を進めましたので減収となりました。

養殖事業：前年同期比で減収、減益となりました。

- ・ 日本では、ぶり養殖事業で魚価が回復し販売数量が増加しましたが、まぐろ養殖事業は販売数量が減少し魚価も下落しました。
- ・ 南米では、鮭鱒養殖事業で魚価が上昇しましたが、魚病の影響もあり水揚げ数量が減少し、原魚コストが上昇しました。

加工・商事事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、水産物の在庫圧縮を進めるとともに鮭鱒、えびが高値で推移しました。
- ・ 北米では、助子の生産量が減少するとともに、すけそうだらの小型化によりすりみの生産量が増加し、全体として販売価格は下落しました。

(2) 食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は1,434億60百万円（前年同期比94億81百万円増）となり、営業利益は13億94百万円（前年同期比5億1百万円増）となりました。

加工事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、家庭用冷凍食品、業務用冷凍食品において円安による輸入原材料・製品などの仕入価格の上昇によるコスト高があり、生産性の向上や販売経費の削減、販売価格の改定などに取り組みました。
- ・ 北米では、家庭用冷凍食品会社で厳しい価格競争の結果、大幅に減益となりました。業務用冷凍食品会社では外食卸向けの販売が順調に推移しましたが、主要原料のえび価格が上昇しました。

チルド事業：前年同期比で減収、増益となりました。

- ・ コンビニエンスストア向け食品生産工場において生産品目の見直しがあり減収となりましたが、生産性の改善や廃棄ロスの削減などにより増益となりました。

(3) ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料（注1）、機能性食品（注2）、および医薬品、診断薬の生産・販売を行っております。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は142億円（前年同期比6億47百万円増）となり、営業利益は36億83百万円（前年同期比1億45百万円増）となりました。

- ・ 医薬原料は前年同期並みに推移し、機能性食品については、通信販売での広告宣伝により販売が好調に推移し

ました。連結子会社の日水製薬株式会社においては臨床診断薬事業などの販売が伸び悩みました。

(4) 物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

物流事業では売上高は70億2百万円（前年同期比5億26百万円増）となり、営業利益は7億85百万円（前年同期比1億43百万円減）となりました。

- ・ 共同配送事業の新規取り組みなどにより増収となりましたが、冷蔵倉庫事業において取扱量が減少しました。

(注1) 主に食品素材や化粧品素材向けとなるEPA・DHA、グルコサミン、コレステロール、オレンジラフィー油など。

(注2) 特定保健用食品「イマーク」・「イマークS」やEPA・DHA、グルコサミンなどのサプリメント。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.5%増加し、2,167億2百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が24億17百万円、商品及び製品が107億11百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、2,212億20百万円となりました。これは有形固定資産が34億13百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、4,379億23百万円となりました。

負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、2,132億42百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が19億46百万円、短期借入金が117億91百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.5%減少し、1,499億86百万円となりました。これは長期借入金が70億99百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、3,632億28百万円となりました。

純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて82億90百万円増加し、746億94百万円となりました。これは主として四半期純利益31億84百万円及び為替換算調整勘定が33億65百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が発生いたしました。詳細については、本日平成25年11月5日公表の「第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。なお、通期の業績予想につきましては、現時点では前回発表の予想数値に変更はありませんが、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,106	13,249
受取手形及び売掛金	70,573	72,990
商品及び製品	44,834	55,546
仕掛品	16,601	20,266
原材料及び貯蔵品	27,611	24,475
その他	28,371	30,678
貸倒引当金	△500	△504
流動資産合計	201,598	216,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,161	48,318
その他（純額）	63,445	60,875
有形固定資産合計	112,607	109,193
無形固定資産		
のれん	5,030	4,354
その他	12,394	12,498
無形固定資産合計	17,425	16,853
投資その他の資産		
投資有価証券	67,627	72,593
その他	<u>30,193</u>	<u>26,928</u>
貸倒引当金	△5,344	△4,347
投資その他の資産合計	<u>92,477</u>	<u>95,173</u>
固定資産合計	<u>222,509</u>	<u>221,220</u>
資産合計	<u>424,108</u>	<u>437,923</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,416	34,362
短期借入金	130,736	142,528
未払法人税等	3,026	2,543
未払費用	24,099	20,286
引当金	4,954	5,195
その他	7,116	8,325
流動負債合計	202,350	213,242
固定負債		
長期借入金	131,940	124,840
退職給付引当金	17,069	18,119
その他の引当金	239	226
その他	6,103	6,800
固定負債合計	155,353	149,986
負債合計	357,704	363,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	19,585	22,769
自己株式	△257	△257
株主資本合計	56,815	59,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,455	5,854
繰延ヘッジ損益	△229	△107
為替換算調整勘定	△5,268	△1,902
在外子会社の年金債務調整額	△2,905	△3,308
その他の包括利益累計額合計	△3,947	536
少数株主持分	13,536	14,158
純資産合計	66,404	74,694
負債純資産合計	424,108	437,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	277,032	291,611
売上原価	217,198	231,401
売上総利益	59,834	60,210
販売費及び一般管理費	56,921	54,905
営業利益	2,912	5,304
営業外収益		
受取利息	432	283
受取配当金	461	546
為替差益	—	446
助成金収入	351	657
雑収入	486	545
営業外収益合計	1,732	2,479
営業外費用		
支払利息	1,872	1,677
為替差損	922	—
持分法による投資損失	378	85
雑支出	717	246
営業外費用合計	3,890	2,009
経常利益	754	5,775
特別利益		
固定資産売却益	396	1,451
減損損失戻入益	—	386
投資有価証券売却益	500	196
特別利益合計	897	2,034
特別損失		
固定資産処分損	290	180
減損損失	348	—
投資有価証券評価損	1,297	—
関係会社株式売却損	—	696
特別退職金	—	123
特別損失合計	1,935	1,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△284	6,809
法人税、住民税及び事業税	2,046	2,687
法人税等調整額	△555	563
法人税等合計	1,490	3,250
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,775	3,558
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△559	374
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,216	3,184

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,775	3,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△623	1,440
繰延ヘッジ損益	△113	△34
為替換算調整勘定	938	1,378
在外子会社の年金債務調整額	△47	△403
持分法適用会社に対する持分相当額	538	1,969
その他の包括利益合計	693	4,350
四半期包括利益	△1,082	7,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△747	7,668
少数株主に係る四半期包括利益	△334	239

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	110,614	133,979	13,553	6,475	264,622	12,409	277,032	—	277,032
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,055	715	132	3,677	10,580	1,219	11,800	△11,800	—
計	116,669	134,694	13,685	10,153	275,203	13,629	288,832	△11,800	277,032
セグメント利益又は損失(△)	△844	892	3,538	928	4,515	518	5,034	△2,121	2,912

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△2,121百万円には、セグメント間取引消去41百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,162百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において「水産事業」セグメントで売却予定の資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に210百万円計上いたしました。また、いずれの報告セグメントに配分されていない遊休資産について138百万円を減損損失に計上いたしました。

(のれんの金額の重要な変動)

「水産事業」セグメントにおいて金子産業株式会社の株式を取得し連結子会社としております。これによる当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は2,304百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	114,365	143,460	14,200	7,002	279,029	12,582	291,611	—	291,611
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,478	624	137	3,410	9,650	983	10,633	△10,633	—
計	119,844	144,085	14,338	10,412	288,679	13,566	302,245	△10,633	291,611
セグメント利益	873	1,394	3,683	785	6,737	608	7,345	△2,040	5,304

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△2,040百万円には、セグメント間取引消去35百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,075百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本水産株式会社

コード番号 1332 URL <http://www.nissui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 細見 典男

問合せ先責任者(役職名) 経営企画IR室長 (氏名) 根本 喜一

TEL 03-3244-7490

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	291,611	5.3	5,304	82.1	5,775	665.9	3,184	—
25年3月期第2四半期	277,032	1.9	2,912	△54.2	754	△85.7	△1,216	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 7,477百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,134百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	11.53	—
25年3月期第2四半期	△4.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	<u>435,374</u>	<u>71,156</u>	<u>13.1</u>
25年3月期	<u>421,645</u>	<u>63,297</u>	<u>11.8</u>

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 56,998百万円 25年3月期 49,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	582,000	2.7	12,500	115.2	11,500	111.3	6,000	—	21.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	277,210,277 株	25年3月期	277,210,277 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	926,325 株	25年3月期	923,417 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	276,285,560 株	25年3月期2Q	276,289,791 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資など政府の経済対策や日銀の金融緩和による円安などから、企業収益に改善の兆しが見られ、個人消費では耐久消費財などで消費税増税前の駆け込み需要がありました。

世界経済（連結対象期間1－6月）につきましては、米国では景気は緩やかな回復傾向にあります。欧州のユーロ圏では景気は下げ止まり、ドイツ・イギリスにおいて個人消費持ち直しの動きが見られます。アジアでは中国において経済成長率が鈍化しています。

このような状況下で当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は2,916億11百万円（前年同期比145億79百万円増）、営業利益は53億4百万円（前年同期比23億92百万円増）、経常利益は57億75百万円（前年同期比50億21百万円増）、第2四半期純利益は31億84百万円（前年同期比44億円増）となりました。

事業の概況は次のとおりであります。

(1) 水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は1,143億65百万円（前年同期比37億51百万円増）となり、営業利益は8億73百万円（前年同期比17億18百万円増）となりました。

漁撈事業：前年同期比で減収、増益となりました。

- ・ 日本では、海外まき網漁業において、かつおの漁獲・販売が順調に推移しました。近海漁業では、さばの魚価が堅調に推移しました。
- ・ 南米では、漁撈事業の縮小・撤退を進めましたので減収となりました。

養殖事業：前年同期比で減収、減益となりました。

- ・ 日本では、ぶり養殖事業で魚価が回復し販売数量が増加しましたが、まぐろ養殖事業は販売数量が減少し魚価も下落しました。
- ・ 南米では、鮭鱒養殖事業で魚価が上昇しましたが、魚病の影響もあり水揚げ数量が減少し、原魚コストが上昇しました。

加工・商事事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、水産物の在庫圧縮を進めるとともに鮭鱒、えびが高値で推移しました。
- ・ 北米では、助子の生産量が減少するとともに、すけそうだらの小型化によりすりみの生産量が増加し、全体として販売価格は下落しました。

(2) 食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は1,434億60百万円（前年同期比94億81百万円増）となり、営業利益は13億94百万円（前年同期比5億1百万円増）となりました。

加工事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、家庭用冷凍食品、業務用冷凍食品において円安による輸入原材料・製品などの仕入価格の上昇によるコスト高があり、生産性の向上や販売経費の削減、販売価格の改定などに取り組みました。
- ・ 北米では、家庭用冷凍食品会社で厳しい価格競争の結果、大幅に減益となりました。業務用冷凍食品会社では外食卸向けの販売が順調に推移しましたが、主要原料のえび価格が上昇しました。

チルド事業：前年同期比で減収、増益となりました。

- ・ コンビニエンスストア向け食品生産工場において生産品目の見直しがあり減収となりましたが、生産性の改善や廃棄ロスの削減などにより増益となりました。

(3) ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料（注1）、機能性食品（注2）、および医薬品、診断薬の生産・販売を行っております。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は142億円（前年同期比6億47百万円増）となり、営業利益は36億83百万円（前年同期比1億45百万円増）となりました。

- ・ 医薬原料は前年同期並みに推移し、機能性食品については、通信販売での広告宣伝により販売が好調に推移し

ました。連結子会社の日水製薬株式会社においては臨床診断薬事業などの販売が伸び悩みました。

(4) 物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

物流事業では売上高は70億2百万円（前年同期比5億26百万円増）となり、営業利益は7億85百万円（前年同期比1億43百万円減）となりました。

- ・ 共同配送事業の新規取り組みなどにより増収となりましたが、冷蔵倉庫事業において取扱量が減少しました。

(注1) 主に食品素材や化粧品素材向けとなるEPA・DHA、グルコサミン、コレステロール、オレンジラフィー油など。

(注2) 特定保健用食品「イマーク」・「イマークS」やEPA・DHA、グルコサミンなどのサプリメント。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.5%増加し、2,167億2百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が24億17百万円、商品及び製品が107億11百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、2,186億72百万円となりました。これは有形固定資産が34億13百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、4,353億74百万円となりました。

負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、2,132億42百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が19億46百万円、短期借入金が117億91百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.2%減少し、1,509億76百万円となりました。これは長期借入金が70億99百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、3,642億18百万円となりました。

純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて78億59百万円増加し、711億56百万円となりました。これは主として四半期純利益31億84百万円及び為替換算調整勘定が29億34百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が発生いたしました。詳細については、本日平成25年11月5日公表の「第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。なお、通期の業績予想につきましては、現時点では前回発表の予想数値に変更はありませんが、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,106	13,249
受取手形及び売掛金	70,573	72,990
商品及び製品	44,834	55,546
仕掛品	16,601	20,266
原材料及び貯蔵品	27,611	24,475
その他	28,371	30,678
貸倒引当金	△500	△504
流動資産合計	201,598	216,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,161	48,318
その他(純額)	63,445	60,875
有形固定資産合計	112,607	109,193
無形固定資産		
のれん	5,030	4,354
その他	12,394	12,498
無形固定資産合計	17,425	16,853
投資その他の資産		
投資有価証券	67,627	72,593
その他	27,730	24,380
貸倒引当金	△5,344	△4,347
投資その他の資産合計	90,013	92,625
固定資産合計	220,046	218,672
資産合計	421,645	435,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,416	34,362
短期借入金	130,736	142,528
未払法人税等	3,026	2,543
未払費用	24,099	20,286
引当金	4,954	5,195
その他	7,116	8,325
流動負債合計	202,350	213,242
固定負債		
長期借入金	131,940	124,840
退職給付引当金	17,069	18,119
その他の引当金	239	226
その他	6,747	7,790
固定負債合計	155,997	150,976
負債合計	358,348	364,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	15,883	19,067
自己株式	△257	△257
株主資本合計	53,113	56,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,455	5,854
繰延ヘッジ損益	△229	△107
為替換算調整勘定	△4,673	△1,738
在外子会社の年金債務調整額	△2,905	△3,308
その他の包括利益累計額合計	△3,352	700
少数株主持分	13,536	14,158
純資産合計	63,297	71,156
負債純資産合計	421,645	435,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	277,032	291,611
売上原価	217,198	231,401
売上総利益	59,834	60,210
販売費及び一般管理費	56,921	54,905
営業利益	2,912	5,304
営業外収益		
受取利息	432	283
受取配当金	461	546
為替差益	—	446
助成金収入	351	657
雑収入	486	545
営業外収益合計	1,732	2,479
営業外費用		
支払利息	1,872	1,677
為替差損	922	—
持分法による投資損失	378	85
雑支出	717	246
営業外費用合計	3,890	2,009
経常利益	754	5,775
特別利益		
固定資産売却益	396	1,451
減損損失戻入益	—	386
投資有価証券売却益	500	196
特別利益合計	897	2,034
特別損失		
固定資産処分損	290	180
減損損失	348	—
投資有価証券評価損	1,297	—
関係会社株式売却損	—	696
特別退職金	—	123
特別損失合計	1,935	1,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△284	6,809
法人税、住民税及び事業税	2,046	2,687
法人税等調整額	△555	563
法人税等合計	1,490	3,250
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,775	3,558
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△559	374
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,216	3,184

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,775	3,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△623	1,440
繰延ヘッジ損益	△113	△34
為替換算調整勘定	886	947
在外子会社の年金債務調整額	△47	△403
持分法適用会社に対する持分相当額	538	1,969
その他の包括利益合計	640	3,919
四半期包括利益	△1,134	7,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△800	7,237
少数株主に係る四半期包括利益	△334	239

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	110,614	133,979	13,553	6,475	264,622	12,409	277,032	—	277,032
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,055	715	132	3,677	10,580	1,219	11,800	△11,800	—
計	116,669	134,694	13,685	10,153	275,203	13,629	288,832	△11,800	277,032
セグメント利益又は損失(△)	△844	892	3,538	928	4,515	518	5,034	△2,121	2,912

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△2,121百万円には、セグメント間取引消去41百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,162百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において「水産事業」セグメントで売却予定の資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に210百万円計上いたしました。また、いずれの報告セグメントに配分されていない遊休資産について138百万円を減損損失に計上いたしました。

(のれんの金額の重要な変動)

「水産事業」セグメントにおいて金子産業株式会社の株式を取得し連結子会社としております。これによる当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は2,304百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	114,365	143,460	14,200	7,002	279,029	12,582	291,611	—	291,611
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,478	624	137	3,410	9,650	983	10,633	△10,633	—
計	119,844	144,085	14,338	10,412	288,679	13,566	302,245	△10,633	291,611
セグメント利益	873	1,394	3,683	785	6,737	608	7,345	△2,040	5,304

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△2,040百万円には、セグメント間取引消去35百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,075百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。